

- 問1 世界の国々の統計を示した資料において、人口が13億人を超えていながら、国内総生産（GDP）の総額がドイツを下回っている国があります。この国の経済的特色について、一人あたりのGDPと第3次産業人口の割合という2つの視点から述べた説明として、正しいものはどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）
1. 一人あたりのGDPは世界平均を大きく上回っているが、依然として第1次産業が中心であるため、第3次産業人口の割合は極めて低い。
 2. 人口が非常に多いため、一人あたりのGDPはドイツより高いが、第3次産業人口の割合は世界で最も低い部類に入る。
 3. 先進国に近い経済構造を持っており、一人あたりのGDPが高く、第3次産業人口の割合が第2次産業を大きく下回っている。
 4. アメリカやドイツと比較して、一人あたりのGDPが低く、第3次産業に従事する人口の割合も低い位置にある。
- 問2 ユーラシア大陸の構成と特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. アジア州とヨーロッパ州を合わせた名称であり、地球上の陸地の中で最大の面積を持つ。
 2. アジア州のみを指す名称であり、六大洲の中で最も人口密度が低い大陸である。
 3. ヨーロッパ州と北アメリカ州を合わせた名称であり、赤道が大陸の中央を通過している。
 4. アジア州とアフリカ州を合わせた名称であり、本初子午線が通る唯一の大陸である。
- 問3 フィリピンなどの東南アジアで見られる気候について、年間降水量が1500ミリメートル以上に達し、一年中気温が高い状態が続く理由を地理的な背景から説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
1. 中緯度高圧帯の影響を強く受け、年間を通じて乾燥した空気が上空から吹き降りてくるから。
 2. 赤道に近い低緯度のため、強い日差しによって空気が暖められて上昇気流が発生しやすいから。
 3. 高緯度地域から流れてくる寒流の影響によって、海水の蒸発が抑制され雲が発生しにくいから。
 4. ユーラシア大陸の内陸部に位置しているため、季節風が遮られ気温が上昇しやすいから。
- 問4 東南アジアに位置するある国は、国土面積が約33万平方キロメートルで日本の面積（約38万平方キロメートル）に近く、日本への主要な輸出品目として衣服類が大きな割合を占めているという特徴があります。この国を答えなさい。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
1. フィリピン
 2. タイ
 3. ベトナム
 4. インドネシア
- 問5 ある国に関する統計データを確認したところ、2019年時点での人口密度が1平方キロメートルあたり約358人と高く、日本への主な輸出品として「機械類」「果実」「木製品」が挙げられていました。この国として当てはまる名称はどれですか。（2024年 青森県公立入試 類似）
1. 韓国
 2. オーストラリア
 3. フィリピン
 4. カナダ
- 問6 世界の小麦と米の生産状況について、2014年の統計資料に基づいた説明として最も適切なものはどれか選びなさい。（2018年 大阪府公立入試 類似）
1. 小麦の生産量で17.3%、米の生産量で27.9%を占めていずれも世界1位である中国は、巨大な人口を抱えるため国内消費量も多い。
 2. 小麦の生産量において第3位のロシアや第4位のアメリカ合衆国は、米の生産量においても世界1位または2位を占めている。
 3. 米の生産量で上位4位に入るインドネシアやバングラデシュは、同様に小麦の生産量においても世界トップクラスである。
 4. 乾燥した気候に適した小麦はオーストラリアやフランスが世界1位と2位を占め、温暖湿潤な気候に適した米は中国とインドが上位を占める。
- 問7 中国の食文化は地域によって大きく異なります。華北地方において、その土地の自然環境と食文化の因果関係を説明したものとして、正しい記述はどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）
1. 広大な牧草地を利用した酪農が中心であり、牛肉や乳製品を主食とする食文化が形成された。
 2. 畑作地帯で生産される小麦を主原料とし、寒冷な冬に備えて塩分を効かせた、水餃子に代表される食文化が形成された。
 3. 長江流域の肥沃な平野で生産される米を主原料とし、川魚などの淡水魚を多用した食文化が形成された。
 4. 沿岸部で交易が盛んであったことから、海外から伝わった香辛料と地元の野菜を組み合わせた食文化が形成された。
- 問8 インドにおいてソフトウェア産業を中心としたIT産業が急速に成長した理由について、地理的背景や歴史的背景をふまえて説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2024年 富山県公立入試 類似）
1. アメリカ合衆国と緯度がほぼ同じであるため、気候条件が似ており、農作業の合間にIT業務を行う仕組みが整っていたから
 2. 英語が公用語の一つであるためアメリカとの意思疎通が容易であり、かつ約半日の時差を活かした24時間体制の開発が可能だったから
 3. ヒンドゥー教の教えにより、複雑な計算をすべて暗算で行う伝統があったため、コンピュータを使用しない独自のIT技術が発達したから
 4. アメリカ合衆国と地続きの広大な領土を有しており、光ファイバー網の敷設が他国よりも圧倒的に低コストで済んだから
- 問9 統計データにおいて、国民の約87%がイスラム教を信仰しており、日本への輸出額（199億ドル相当）がEUへの輸出額（145億ドル相当）を上回っている、東南アジアに位置する世界最大の島国はどこか。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
1. インドネシア
 2. トルコ
 3. フィリピン
 4. マレーシア
- 問10 タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムなどの東南アジアの国々が、地域の経済成長や平和と安定を目的として1967年に結成した政府間の組織は何ですか。（2022年 山口県公立入試 類似）
1. 欧州連合（EU）
 2. 東南アジア諸国連合（ASEAN）
 3. 石油輸出国機構（OPEC）
 4. アジア太平洋経済協力（APEC）
- 問11 近年のインドの産業と貿易の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）
1. 豊富な労働力と技術力を背景にダイヤモンドなどの宝石加工業や石油化学工業が発展し、それらが主要な輸出品となっている。
 2. 東南アジア諸国連合（ASEAN）の中核として、熱帯の気候を生かしたパーム油の生産と輸出において世界最大のシェアを誇っている。
 3. 広大な国土で栽培される綿花が輸出額の大部分を占めており、現在も原料の供給を中心としたモノカルチャー経済が続いている。
 4. 世界最大級の鉄鉱石の産出量を背景に、未加工の鉱物資源を日本や中国へ輸出することが最大の貿易利益となっている。
- 問12 インドにおいて人口の約8割を占める宗教の特色と、その周辺国への影響について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2022年 長野県公立入試 類似）
1. 多神教であり、牛を神聖な動物として大切にしている習慣があり、生活習慣や食文化に強い影響を与えている。
 2. 釈迦によってインドで開かれた宗教であり、現在はインドよりもタイやミャンマーなどの東南アジアで広く信仰されている。
 3. 唯一絶対の神を信仰する一神教であり、インド国内では約15%を占める第2の宗教となっている。
 4. パキスタンやバングラデシュにおいて、人口の大部分が信仰している宗教と同一である。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 アメリカやドイツと比較して、一人あたりのGDPが低く、第3次産業に従事する人口の割合も低い位置にある。	人口が13億人を超え、GDP総額がドイツより低いというデータは、インドの経済規模と効率性を示しています。一人あたりのGDP（横軸）と第3次産業人口割合（縦軸）をグラフにした場合、インドは先進国（アメリカやドイツなど）に比べて数値が小さく、グラフの原点に近い場所に位置します。これは、経済のサービス化（第3次産業化）や国民一人ひとりの所得水準が、発展途上の段階にあることを裏付けています。
問2	答え 1 アジア州とヨーロッパ州を合わせた名称であり、地球上の陸地の中で最大の面積を持つ。	ユーラシアという名称は「ヨーロッパ」と「アジア」を合成した造語です。地理的には一つの地続きの陸塊ですが、歴史的・文化的な背景が異なるため二つの州に区分されています。面積は他の大陸と比較しても最大であり、世界の陸地面積の約40%近くを占めています。
問3	答え 2 赤道に近い低緯度のため、強い日差しによって空気が暖められて上昇気流が発生しやすいから。	熱帯の気候は、地球上で最も太陽の光を垂直に近い角度で受ける低緯度地域に分布しています。この強い日差しが地面付近の空気を急激に暖めることで上昇気流が生まれ、積乱雲が発達して「スコール」と呼ばれる激しい雨を頻繁に降させます。この仕組みが年間を通じて繰り返されるため、降水量と気温が共に高い水準で維持されます。
問4	答え 3 ベトナム	ベトナムはインドシナ半島の東側に位置する国で、面積は日本よりわずかに小さい約33万平方キロメートルです。1980年代後半から導入されたドイモイ（刷新）政策により市場経済が導入され、豊富な労働力を背景とした軽工業が発展しました。特に衣服の生産が盛んで、日本にとっても中国に次ぐ重要な衣服の輸入先となっています。
問5	答え 3 フィリピン	フィリピンは東南アジアの島国であり、人口が増加し続けているため人口密度が高いのが特徴です。日本との貿易では、バナナやパイナップルなどの果実のほか、工業化に伴い集積回路などの機械類の輸出も多くなっています。韓国は人口密度が高い点は共通していますが、熱帯性の果実輸出は特徴的ではありません。カナダやオーストラリアは面積が広大で、人口密度は低い国です。
問6	答え 1 小麦の生産量で17.3%、米の生産量で27.9%を占めていずれも世界1位である中国は、巨大な人口を抱えるため国内消費量も多い。	中国とインドは、世界の主要な主食である小麦と米の両方で世界トップの生産量を誇りますが、これは自国の人口が多いため国内での需要が極めて高いことが背景にあります。一方で、ロシアやアメリカ合衆国は小麦の生産量は多いものの米の生産順位は高くなく、逆にインドネシアやバングラデシュは米の生産は盛んですが小麦の生産量は上位には含まれません。
問7	答え 2 畑作地帯で生産される小麦を主原料とし、寒冷な冬に備えて塩分を効かせた、水餃子に代表される食文化が形成された。	華北地方は黄河の中流域を中心とした内陸寄りの地域であり、降水量が少ないため小麦栽培が農業の基盤となっています。この農業形態に基づき、小麦粉を加工した食品が発達しました。また、冬の寒さが厳しい地域であるため、保存性を高める意味や体温を維持する目的から、塩辛く濃い味付けの料理が多くなったという背景があります。豚肉や羊肉の使用も、こうした気候や地理的条件に関連しています。
問8	答え 2 英語が公用語の一つであるためアメリカとの意思疎通が容易であり、かつ約半日の時差を活かした24時間体制の開発が可能だったから	インドのIT産業発展には、主に2つの大きな要因があります。一つは、かつてイギリスの植民地であった歴史から英語が公用語の一つとして普及しており、アメリカの技術者とスムーズに連携できたことです。もう一つは、アメリカとの間に約半日の時差があることで、アメリカが夜の間にインドで作業を進める「24時間体制」の運営ができたことです。これらに加え、数学教育の質の高さもIT産業を支える土台となりました。
問9	答え 1 インドネシア	東南アジアに位置するインドネシアは、1万7000以上の島々からなる世界最大の島国です。中東の国々と比較しても、世界で最も多くのイスラム教徒人口を抱えていることが大きな特徴です。また、液化天然ガス（LNG）や石炭などのエネルギー資源が豊富であり、地理的にも近い日本との貿易において、輸出額がEU諸国全体への額を上回るなど、非常に密接な経済関係を築いています。
問10	答え 2 東南アジア諸国連合（ASEAN）	タイやフィリピンといった東南アジアの国々が、域内の経済発展や社会・文化的発展、平和と安定を目指して協力している枠組みです。近年では経済的な結びつきをより強めるために、ASEAN経済共同体（AEC）を発足させるなどの取り組みを行っています。
問11	答え 1 豊富な労働力と技術力を背景にダイヤモンドなどの宝石加工業や石油化学工業が発展し、それらが主要な輸出品となっている。	インドでは膨大な人口による豊富な労働力に加え、高い教育水準を背景とした工業化が進んでいます。特にダイヤモンドの加工業や石油製品の輸出は、単なる原料の輸出ではなく、付加価値を高めて輸出する形態として近年の経済成長を支えています。鉄鉱石はブラジルやオーストラリア、パーム油はインドネシアやマレーシアの主な特徴であり、インドの現状とは異なります。
問12	答え 1 多神教であり、牛を神聖な動物として大切にする習慣があり、生活習慣や食文化に強い影響を与えている。	インドの多数派であるヒンドゥー教は多神教であり、牛を神聖視して牛肉を食べないといった食文化上の特徴があります。これに対し、隣国のパキスタンやバングラデシュではイスラム教が多数派となっており、宗教の違いが国家の分離独立や文化的な差異の背景となっています。なお、インド国内で約15%を占めるのはイスラム教であり、仏教はインド発祥ですが現在の信者数は限定的です。